

持続可能な 社会をめざす

ファーストリテイリングは、事業そのものを通じて、世界をより良いものにしていこうと考えています。ファーストリテイリングのサステナビリティステートメントは、「服のチカラを、社会のチカラに。」です。私たちが取り組むべき重点領域として6つのマテリアリティを定めました。私たちは、これらの実践に向けて真剣に取り組んでいきます。

6つのマテリアリティ(重点領域)

- 1 商品と販売を通じた新たな価値創造
- 2 サプライチェーンの人権・労働環境の尊重
- 3 環境への配慮
- 4 コミュニティとの共存・共栄
- 5 従業員の幸せ
- 6 正しい経営(ガバナンス)



SUSTAINABIL



ITY

E

ENVIRONMENT

環境

S

SOCIAL

社会

G

GOVERNANCE

ガバナンス



事業活動全体で 地球環境の負荷低減に貢献します

マテリアリティ 1

マテリアリティ 3

- ▶ 取引先の主要縫製工場、主要素材工場では、サステナブル・アパレル連合の評価指標（Higgインデックス）を用いた環境評価を実施し、工場の排水処理や廃棄物の取り扱いなどについて改善活動に取り組んでいます。
- ▶ パリ協定の2050年までの温室効果ガス排出量の削減目標を尊重し、店舗、サプライチェーンにおける温室効果ガス排出量削減の取り組みを推進します。
- ▶ 原材料の調達・生産の工程において、水の汚染防止や、水とエネルギーの使用量削減に努めます。主要な素材工場では、水使用量の15%、エネルギー使用量の10%を削減目標としています。
- ▶ すべての商品およびその生産プロセスにおける有害化学物質排出ゼロをめざします。
- ▶ 商品パッケージやショッピングバッグの使用量の削減や、環境配慮型素材への切り替えにより、環境負荷の低減に取り組めます。



RECYCLE
REUSE
REDUCE

RE.UNIQLO はじめます。

もっと未来を豊かにする服へ。ユニクロはお客様のもとで不要になった服を回収し、服に新しい価値を与えて次へと生かす、お客様参加型の取り組み「RE.UNIQLO」をスタートしています。2006年から行ってきた「全商品リサイクル活動」における難民・避難民への衣料支援（REUSE）に加え、回収した服を新しい商品としてよみがえらせる循環型リサイクル（RECYCLE）を進めていきます。その第1弾の商品が、リサイクルダウンジャケットです。ユニクロの服を、再びユニクロの服へ。こうした取り組みにより、商品のライフサイクルを通じて余分な廃棄物、CO2排出量、資源使用量の削減（REDUCE）につなげていきます。サステナブル（持続可能）な社会の実現に向けて、ユニクロは素材の再生と循環の取り組みを推進していきます。



1

リサイクルダウンで価値ある資源の循環利用

ユニクロは、ダウン商品のリサイクルを開始しました。お客様が着られなくなったダウン商品を回収し、新たなダウン商品として生まれ変わらせます。2019年9月から日本で行った回収キャンペーンでは約62万点のダウン商品を回収、2020年9月からは、世界の22の国・エリアで回収を始めました。リサイクルのために、ダウンフェザーと生地を分離する作業は、手作業で行うことが一般的ですが、ユニクロは東レ株式会社が新たに開発した、完全な自動化を実現するダウン分離システムを採用しました。手作業に比べて約50倍の処理能力があるだけでなく、ダウンやフェザーが舞い飛ぶ環境下での作業を廃止できるので、作業者の負担軽減にもつながります。分離システムによって取り出されたダウンフェザーは、洗浄工程を経て、新しいダウン商品の素材として再利用されます。2020年秋冬シーズンから、リサイクルのダウンフェザーを100%使用したリサイクルダウンジャケットを発売しています。



リサイクル
ダウンジャケット



手作業で行っていたダウンフェザーと
生地を分ける作業を自動化。
労働環境の改善にもつながります。



2

世界各地の難民・避難民へ。 商品のリサイクル活動

ユニクロでは2006年から、お客様が不要になった服を店頭で回収し、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) と協働して、世界中の難民・避難民へ寄贈する「全商品リサイクル活動」を行っています。2010年からはジーユーもこの活動に加わり、回収活動は23の国・エリアに広がっています。これまでに世界中の75の国と地域に4,111万点(2020年8月末)の服を寄贈しました。

回収した服のうち、着用できない服(全体の約20%)は、高カロリー固形燃料(RPF*)や自動車用防音材に生まれ変わります。RPFは石炭など化石燃料の代替として、製紙会社などの専用ボイラーなどで使われています。自動車用防音材は、自動車のエンジン音や電気自動車の高周波を低減する役割を果たします。

* Refuse Paper and Plastic Fuel の略



マラウイの難民キャンプ





地域コミュニティに根ざし、 社会的課題の解決に取り組めます

マテリアリティ 1

マテリアリティ 2

マテリアリティ 4

マテリアリティ 5

- ▶ 世界中で新型コロナウイルス感染症対策への支援を行っていきます。
- ▶ お客様が着なくなった服を回収し、難民・避難民など必要としている人々に届ける活動を行っています。
- ▶ サプライチェーンで働く人の人権を尊重し、安全で公正な労働環境づくりを支援します。
- ▶ 従業員の健康、安全、人権を守り、多様性を尊重することで、一人一人が、輝いて活躍できる職場環境を整備します。
- ▶ 障がい者、難民・避難民の雇用拡大をめざします。

サプライチェーン全体の労働環境の 改善をめざしてモニタリングを実施

ファーストリテイリングは「生産パートナー向けのコードオブコンダクト」に基づいて、すべての縫製工場と主な素材工場を対象に、人権侵害、労働環境、環境保全などの項目について、第三者専門機関が定期的に監査を行っています。監査の結果を各工場に伝え、改善が必要な項目については、ファーストリテイリングの従業員が直接訪問し、取引先工場とともに改善活動に取り組んでいます。



ユニクロの取引先工場（中国）の従業員

労働環境モニタリングの結果（取引先工場の評価）

評価	内容	モニタリング実施工場数（うち、ユニクロ）			
		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
A	指摘事項が全くない	67 (31)	61 (33)	40 (21)	52 (27)
B	比較的低リスクの低い違反事項が認められた	250 (139)	233 (135)	234 (143)	257 (162)
C	人権侵害の恐れや、労働安全衛生上の違反（例えば、従業員にマスク・手袋などの作業用保護具が適切に支給されていないなど）が認められた	196 (84)	229 (97)	239 (103)	237 (84)
D	人権侵害や安全衛生、賃金や福利厚生上の重大な違反（例えば、非常口の施錠や賃金計算の不備など）が認められた	49 (13)	84 (34)	71 (18)	66 (12)
E	児童労働や強制労働などの深刻な人権侵害や、安全衛生上の極めて重大な違反が認められた	14 (6)	5 (1)	1 (1)	1 (1)
モニタリング実施工場数		576 (273)	612 (300)	585 (286)	613 (286)

2020年8月期は、重大な違反があったD評価の工場には、3ヶ月以内で是正を要請。フォローアップモニタリングを実施し、改善されなかった工場に対しては、取引量を削減する措置を実施しました。また、極めて重大な違反があったE評価の工場には、企業取引倫理委員会にて経営・雇用状況を踏まえた審議の上、取引量を削減しました。

「1店舗1名以上の障がい者を雇用」 新店を除き目標をほぼ達成しています

世界に約13億人(人口の約17%)、日本には約950万人(人口の約7%)の障がい者がいるといわれています。ファーストリテイリングは2001年に国内のユニクロ店舗で、「1店舗1名以上の障がい者を雇用」という目標を掲げ、積極的に雇用を推進してきました。企業に求める日本の法定雇用率は2.2%ですが、ファーストリテイリングの雇用率は4.7%(2020年6月現在)で、国が求める雇用率を大きく上回っています。近年では、日本だけでなく、海外各国でも積極的に障がい者雇用の取り組みを広げています。共に働く仲間として、そして店舗でお迎えするお客様として、障がいのある方々のニーズを理解し、お互いに尊重していくことはファーストリテイリングが最も大事にしている理念であり、社会へのコミットメントでもあります。

ユニクロが発売した前あきインナーは、入院している方からのお手紙をはじめ、多くのお声から生まれた商品です。その中で、障がいのあるお客様に集まっていたいただいた座談会でのご要望なども取り入れ、商品開発を行いました。「あらゆる人のための服」をつくるためには、障がいのある方々のニーズに向き合うことも大切だと考えています。すべてのお客様のお声を聞き、お客様のニーズにしっかりと応えていきます。



補正担当のユニクロ銀座店の
スタッフ(視覚障がい者)



前あきインナー▶



育児休業制度を利用中の
従業員への復職説明会の様子



ライフステージに合った働き方選択。 女性のキャリア形成を支援します

ファーストリテイリングは、女性従業員がライフステージに合わせた働き方を選択し、子育てや介護とキャリアアップを両立できるように、人事制度の改革や研修の実施に取り組んでいます。これまでに、女性店長と経営陣・外部有識者が直接対話し、意見交換する会や、子育てをしながら店長として働く女性従業員同士が意見交換する会、女性管理職候補者を対象とした育成プログラム、経営層および女性管理職候補者を対象とした、性別による無意識の偏見を払拭する研修などを実施してきました。グループの全管理職*に占める女性の割合は、38.4%(2020年8月末現在)です。今後も各種制度の拡充を図り、女性のキャリア形成を支援していきます。

*管理職には、営業部ではブロックリーダーとエリアマネージャー、一定グレード以上の店長、本部ではリーダー、部長、執行役員が含まれています。

世界中で感染症対策支援を進めています

26の国や地域に マスク、アイソレーションガウン ユニクロ商品などを寄贈

ファーストリテイリングは2020年3月から、医療資材の不足に直面する医療機関や介護施設など、日本を含む26の国と地域に、マスク、アイソレーションガウン（医療現場で使える防護具）、ユニクロの機能性肌着エアリズム、インナーやアウターなどのエッセンシャルウェアの寄贈や、金銭的支援などを行ってきました。日本の医療機関へアイソレーションガウン120万着、マスク576万枚を支援したほか、中国の湖北省にエアリズム、ヒートテック、ダウンを合計約11万着、米国の医療機関に対しマスク200万枚、エアリズム約2万着を寄贈するなど、継続的な支援を行っています。このほかの国や地域でも、ユニクロのグローバルブランドアンバサダーやスポーツ団体、NPOなどの協力を得ながら、支援を行っています。今後も医療機関やPCRセンター、介護施設などの生活のインフラを支えてくださっている皆様に、必要な支援をできる限り実施していきます。



米国

15の病院を統括する Montefiore Health System に
エアリズムを寄贈

北米

👤 220万枚 🧢 39,850枚
👕 24,410着

■ 新型コロナウイルス感染症に対する支援状況 (2020年11月27日現在)

- 👤 マスク
- 🧢 エアリズムマスク
- 👕 アイソレーションガウン
- 👕 エアリズムインナー
- 👕 エッセンシャルウェア



日本

済生会中央病院にエアリズムと
アイソレーションガウンを寄贈



ドイツ

Berliner Stadtmission (NGO 団体) にユニクロのアウトターやインナーを寄贈

ヨーロッパ

👖 361 万枚 🧢 62,725 枚
👕 25,400 着 👚 18,950 着



中国大陸

湖北省の公的機関と医療機関にヒートテックとエアリズムを寄贈

アジア

👖 1,041 万枚 🧢 50 万枚
👕 143 万枚 👚 420,873 着
👚 503,563 着



香港

Fu Hong Society (障がい者施設) にエアリズムとドライTシャツを寄贈

オセアニア

👖 50 万枚 👚 2,000 着



日本

西山歯科にマスクを寄贈



マレーシア

Hospital Sultan Haji Ahmad Shah (病院) にエアリズムを寄贈



迅速で透明性のある 経営を実現

マテリアリティ 6



- ▶ 取締役の過半数を社外取締役とし、取締役会の独立性を高め、監督機能を強化しています。
- ▶ 取締役会の機能補完のための各種委員会では、オープンで活発な討議を行っています。
- ▶ 指名報酬アドバイザー委員会では、ガバナンスの重要事項を討議し、取締役会へ助言します。



社外監査役インタビュー

本質的な議論を重ねることで、 ガバナンスが強化されていく

社外監査役 榎谷 隆夫

私は、2019年8月に発足した指名報酬アドバイザー委員会の委員をしています。委員会において、本質的な議論をするためには、5年後、10年後にファーストリテイリングが歩むべき道筋がはっきりしていることが重要です。向かうべき道筋が明確であれば、それにふさわしい人物であるかどうかという基準で、業務遂行能力や監督能力などを評価することができるからです。

これまで30年以上にわたり、企業再生のコンサルティングを手がけてきた経験から、人の重要性については深く理解しています。企業再生とは、ビジネスモデルをよく見て、ふさわしい構造改革をしていくことなのですが、事業そのものだけでなく、人も企業もWin-Winの関係になることが大切です。それは私は再生ではなく、新しく生まれ変わるという意味で「新生」と

呼んでいます。ファーストリテイリングは常に先へ先へと進み、新生し続けている企業です。そこで大切になるのは、人です。グローバルスタンダードを大きな流れと捉え、その上でファーストリテイリング スタンダードを基準に力のある人を抜擢していくことで、企業の成長を正しく推し進めていくことができると思います。

指名報酬アドバイザー委員会では、今後のことを見据えて、サクセッションプラン(事業継承)についても議論を重ねていく必要があります。これについては長い時間をかけ、本音での話し合いが大切でしょう。柳井社長は裏表のない発言をされる方です。我々、監査役も取締役も、言うべきことを自由に発言しています。ガバナンスをさらに強化していく意味でも、これまで以上に本質的な議論を重ねていきたいと思っています。

取締役会・監査役会

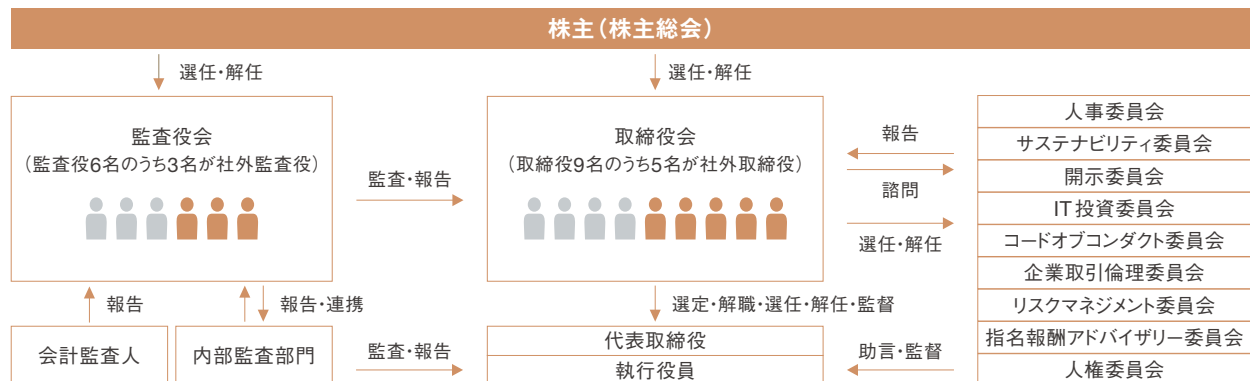
取締役の過半数を社外取締役とし、代表取締役と執行役員の業務執行を監督する機能を強化しています。社外取締役は、グローバル企業の経営を担ってきた人材、M&Aや財務分野の専門性が高い方など、幅広い分野の人材で構成されます。このため、客観的な意見が経営の重要な意思決定に反映されます。2020年8月期に開催された取締役会では、年度予算、決算や役員人事の承認、「グローバルブランド事業の経営方針」などについて討議しました。取締役会は2020年8月期に13回開催され、取締役の出席率は99.1%、監査役の出席率は100%でした。監査役会は、公認会計士、弁護士などの専門的知識をもつ社外監査役が半数を占め、監査の透明性を確保しつつ、専門的かつ客観的な議論がなされています。2020年8月期は12回開催し、監査役の出席率は100%でした。

内部統制

事業がグローバルに拡大する中で、内部統制システムを各国・各エリアに定着させていくためのコンプライアンスの徹底、リスクマネジメント体制の強化、機密情報の管理、内部監査の徹底などに注力しています。従業員の行動規範である「ファーストリテイリンググループ コードオブコンダクト」については、全従業員が毎年Eラーニングを受けることで、行動規範の浸透、遵守の徹底を図っています。コンプライアンス違反の恐れがある事象については、誰もが通報・相談できる社内通報システム(ホットライン)を設けています。

リスクマネジメント委員会では、「新型コロナウイルス感染症」「首都直下型地震などの大規模災害リスク」「情報セキュリティリスク」への対応策などについて討議し、事業活動におけるリスク管理を強化しています。

■ コーポレートガバナンス体制 (2020年11月27日現在)



■ 各委員会の構成 (2020年11月27日現在)

●=委員

		人事委員会	サステナビリティ委員会	開示委員会	IT投資委員会	コードオブコンダクト委員会	企業取引倫理委員会	リスクマネジメント委員会	指名報酬アドバイザリー委員会	人権委員会
社内取締役	柳井 正	●	●	●	委員長				委員長	
	岡崎 健	オブザーバー	●	委員長	●			委員長		●
	柳井 一海		●							
	柳井 康治		●							
社外取締役	半林 亨	委員長							●	
	服部 暢達									
	新宅 正明				オブザーバー					
	名和 高司	●	●					●		●
常勤監査役	大野 直竹								●	
	田中 明	●	●			●	オブザーバー		●	●
	新庄 正明			オブザーバー	オブザーバー		●			
	水澤 真澄		●	オブザーバー				オブザーバー		●
社外監査役	金子 圭子	●				●				●
	櫻谷 隆夫						●		●	
	森 正勝						オブザーバー			
執行役員・社外有識者など		2名	6名	3名	5名	5名	9名	9名	0名	6名

注：サステナビリティ委員会および企業取引倫理委員会の委員長は、サステナビリティ部門の責任者が、コードオブコンダクト委員会の委員長は、法務部門の責任者が、人権委員会の委員長は、社外有識者が、それぞれ務めています。社外取締役および監査役からは、それぞれの知見に基づく意見を得ています。

取締役からのメッセージ



やな い ただし
柳井 正

サステナブル(持続可能)な社会に貢献し、 真のLifeWearをお届けします

「服を変え、常識を変え、世界を変えていく」という企業理念のもとで、透明性のある経営を実現し、サステナブルな社会への貢献を推進していきます。真のLifeWearをつくり続けるために、有明プロジェクトによる全社改革を進めています。今後も、世界中の人々に、我々が提供するLifeWearを通し、服を着る幸せや喜びをお届けする企業として成長していきます。

1984年9月、当社代表取締役社長に就任。2005年9月より当社代表取締役会長兼社長(現任)。主な兼職は、(株)ユニクロ代表取締役会長兼社長、(株)ジーユー取締役会長、(株)リンク・セオリー・ジャパン取締役、日本ベンチャーキャピタル(株)社外取締役



はん ばやし とおる
半林 亨

社外取締役

独立役員

厳しい評価を継続し、 健全な体制下での成長をサポートしていく

倫理観が高く、たぐいまれな才能をもつ経営者である柳井氏ですが、ファーストリテイリングの事業規模の拡大やグローバル化に伴い、経営の透明性はますます重要なものとなっています。私は、健全な体制下での成長が実現されるよう、厳しく評価していきます。ファーストリテイリングの「世界No.1になる」という目標を実現するため、しっかりとサポートしていきます。

2005年11月、当社社外取締役に就任。ニチメン(株)(現 双日(株))代表取締役社長、双日ホールディングス(株)(現 双日(株))代表取締役会長、ユニチカ(株)社外取締役、(株)大京社外取締役、前田建設工業(株)社外取締役を歴任。現在は、日本国際貿易促進協会顧問



はっとり のぶみち
服部 暢達

社外取締役

独立役員

幅広い視野から、 企業価値向上のための助言をしていく

「資本市場から見たファーストリテイリングの企業価値」を客観的に判断することは、経営戦略を考える上で大変重要です。企業のリスクを判断し、随時、助言を行う取締役会の役割は、年々重要性を増しています。私は、企業価値を高める方法などについて、取締役会で多面的な発言をするようにしています。企業価値の向上に貢献できるように、今後も幅広い視野から適切なアドバイスを行っていきます。

2005年11月、当社社外取締役に就任。米国ゴールドマン・サックスを経て、現在はM&A、企業価値評価などを専門に研究。早稲田大学大学院経営管理研究科客員教授、フロンティア・マネジメント(株)社外監査役、(株)博報堂DYホールディングス社外取締役、慶應義塾大学大学院経営管理研究科客員教授



しんたく まさあき
新宅 正明

社外取締役 独立役員

新しい産業への変革の動きを 加速するためのサポートをしていく

物流改革やIT改革などの分野へ効率的な投資が行われていることで、「情報製造小売業」という新しい産業への変革の動きは着実に進んでいます。事業変革期における成長の原動力となる真の経営者の育成についても、成果が見え始めており、チャレンジ精神あふれる多様な人材が増えていることを大変心強く思っています。取締役会も会社の進化を加速させる役割を担い、成長に貢献していきます。

2009年11月、当社社外取締役に就任。米国オラクル・コーポレーション上級副社長、日本オラクル(株)代表取締役会長を歴任。現在は、公益財団法人スペシャルオリンピックス日本参与、(株)NTTドコモ社外取締役



なわ たかし
名和 高司

社外取締役 独立役員

ダイバーシティ(多様性)を大切にして、 持続可能な社会への貢献を推進していく

ファーストリテイリングが、より能動的にESGの課題や問題に取り組み、グローバルで業界のリーダーとして評価されるためのサポートを行っています。持続可能な社会への取り組みに貢献をすることは、企業価値の向上につながります。グローバル化が進むなかで、ダイバーシティを大切にした視点からの発言を心がけ、より良い企業として成長していくために貢献したいと思います。

2012年11月、当社社外取締役に就任。マッキンゼー・アンド・カンパニー、(株)デンソー社外取締役を歴任。現在は、一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授、(株)ジェネシスパートナーズ代表取締役、NECキャピタルソリューション(株)社外取締役、味の素(株)社外取締役、SOMPOホールディングス(株)社外取締役



おの なおたけ
大野 直竹

社外取締役 独立役員

経営の透明性をより高め、 リスク管理の役割をしっかりと果たしていく

私自身が経営トップを務めていた時に、社外取締役に期待したのは、広い視野からの率直な意見でした。経営には、同じ業界だけでなく、他の業界ではどうなのか？という広い視野が欠かせません。聞く耳をもつ経営者である柳井氏に、私は率直に意見を述べ、経営に関する透明性の確保とリスク管理という社外取締役の役割を、今後もしっかりと果たしていきたいと思っています。

2018年11月、当社社外取締役に就任。大和ハウス工業(株)において取締役、専務取締役、代表取締役副社長 営業本部長、代表取締役社長を歴任。2017年11月より大和ハウス工業(株)の特別顧問



おかざき たけし
岡崎 健

現場の実態を伝えることで、 議論をより深いものへと導いていきたい

グループ上席執行役員兼CFOである私の役割は、経営の監督と執行を兼ね合わせて担っていくことだと思います。そのために、取締役会に現場の実態を伝え、現実的で、より深い議論に導いていきたいと考えています。また、取締役会の方針に従い、お客様をはじめとする、あらゆるステークホルダーの立場から、私自身を含む執行陣を律し、正しい経営を実現していきます。

2018年11月、当社取締役に就任。(株)日本長期信用銀行を経て、マッキンゼー・アンド・カンパニーに入社、同社パートナーを務めた後、2011年8月当社に入社。主な兼職は、(株)ユニクロ取締役、(株)ジーユー取締役、当社グループ上席執行役員兼CFO



やない かずみ
柳井 一海

業務改革を進めながら、 継続的な成長の基盤づくりに貢献していく

長期的な視点で、グローバルな成長をめざしていくことが、創業家の者としての私の責任です。ファーストリテイリングのコーポレートカルチャーの継承、ガバナンスの強化、社会貢献などを大切にして、継続的な成長のための基盤づくりに貢献していきます。執行役員としても、業務改革を進めながら、社員や経営チームと共に、理想の会社をつくりあげていきたいと思っています。

2018年11月、当社取締役に就任。ゴールドマン・サックス証券(株)、Link Theory Holdings (US) Inc. (現Theory LLC)を経て、2009年9月当社に入社。主な兼職は、Theory LLC Chairman、UNIQLO USA LLC Chairman、J BRAND HOLDINGS, LLC Chairman、当社グループ上席執行役員



やない こうじ
柳井 康治

人を大切にしていく姿勢を忘れず、 ガバナンス体制のさらなる強化に努める

これまでグローバルマーケティング、有明プロジェクト、人事などの幅広い分野での業務を通し、多くの経験を積んできました。現場を知る執行役員の実務から人を大切にしていける経営が最も重要だということを実感しました。創業家の一員であり、取締役でもある立場から、会社の継続的な成長、ガバナンス体制のさらなる強化のために貢献していきたいと思っています。

2018年11月、当社取締役に就任。三菱商事(株)、三菱商事 在英国 食品事業子会社 Princes Limited 出向を経て、2012年9月当社に入社、(株)ユニクロ グローバル商品本部 本部長補佐、当社グループ上席執行役員

監査役



かね こ けい こ
金子 圭子

社外監査役
独立役員

2012年11月、当社社外監査役に就任。弁護士。アンダーソン・毛利・友常法律事務所パートナー、(株)ユニクロ監査役、(株)朝日新聞社社外監査役、(株)ダイフク社外取締役



かしたに たか お
榎谷 隆夫

社外監査役
独立役員

2018年11月、当社社外監査役に就任。榎谷公認会計士事務所所長、(株)ブレイン・コア代表取締役社長、(株)エフ・ピーブレイン代表取締役社長、日本貨物鉄道(株)社外取締役



もり まさかつ
森 正勝

社外監査役
独立役員

2020年11月、当社社外監査役に就任。学校法人国際大学特別顧問、スタンレー電気(株)社外取締役、ヤマトホールディングス(株)社外取締役、キリンホールディングス(株)社外取締役



た な か あきら
田中 明

常勤監査役

2006年11月、当社常勤監査役に就任。日本マクドナルド(株)(現 日本マクドナルドホールディングス(株))代表取締役副社長、2003年11月当社常務取締役を歴任。公益財団法人スペシャルオリンピックス日本評議員



しんじょう まさあき
新庄 正明

常勤監査役

2012年11月、当社常勤監査役に就任。1994年2月当社入社、管理部長、グループ監査部長、(株)ジーユー監査役、(株)ユニクロ営業支援統括部長を歴任



みずさわ ますみ
水澤 真澄

常勤監査役

2019年11月、当社常勤監査役に就任。山一證券(株)、クラインオートベンソン証券会社調査部を経て、2001年10月当社に入社。グローバル計画管理部IRチーム部長を歴任